

平成27年度「チャレンジテスト」検証シート

学校名 **大阪市立夕陽丘中学校**

【 第 1 学 年 】

生徒数(人) **155**

平均点 (点)

	国語	数学	英語
学校	64.5	57.3	73.1
大阪市	60.4	49.7	62.2
大阪府	61.0	51.0	63.5

平均無解答率 (%)

	国語	数学	英語
学校	6.4	3.7	1.9
大阪市	6.7	4.9	3.4
大阪府	6.3	5.0	3.5

結果の概要

大阪府の平均点と比較して、国語は3.5pt、数学は6.3pt、英語は9.6pt高かった。平均無解答率も数学と英語では大阪府の平均を大きく下回っている。

国語の無解答率が高かったのは、文書で解答する問題であった。

成果と今後取り組むべき課題

国語では、表現力を高めるため、普段から自らの考えを書くという作業を授業で取り入れる必要がある。数学では、数学的な視点で物事をとらえ、説明したり、表現したりする力を育てていく必要がある。

今後は、引き続き習熟度別少人数指導やICTを活用するなどして、個に応じた指導方法の工夫をより一層図り、基礎・基本の定着を徹底させるとともに、資料などを活用して考えを発表する場面や互いに考えを伝えあったりする場面などを取り入れた授業づくりを研究していく必要がある。

【 第 2 学 年 】

生徒数(人) **180**

平均点 (点)

	国語	社会B	数学	理科A	英語
学校	57.1	65.1	67.8	54.1	71.0
大阪市	47.8	54.0	53.7	45.4	52.9
大阪府	49.2	56.1	54.7	46.5	54.8

平均無解答率 (%)

	国語	社会B	数学	理科A	英語
学校	8.2	4.1	3.8	3.7	1.7
大阪市	13.3	6.9	8.2	7.0	4.2
大阪府	12.4	6.2	8.0	6.9	4.1

結果の概要

大阪府の平均点と比較して、国語は7.9pt、社会は9pt、数学は13.1pt、理科は7.6pt、英語は16.2pt高かった。平均無解答率もすべての教科で大阪府の平均を下回っており、問題にあきらめず取り組んだ様子が見える。

成果と今後取り組むべき課題

全教科で大阪府平均を上回っていたが、どの教科においても記述式の問題の正答率が低かった。各教科を総じてみると、基礎・基本事項の定着はできてきているものの、授業の中で発表力・表現力を高めることが十分にできていないと思われる。

今後も引き続き、基礎・基本の定着を徹底させるとともに、ICT機器を活用するなどして、自分の意見を発表する場面や互いに考えを伝えあったりする場面などを取り入れた授業づくりを研究していく必要がある。